

## これからのまちづくりにおける 7つの大きな課題

- 1 世界の平和を脅かす核兵器の存在、貧困、差別、暴力、環境破壊などの問題の解決に向けて取り組む必要があります。
- 2 少子化・高齢化、人口減少の進行は、経済活動の停滞や市民生活に悪影響を及ぼすおそれがあることから、これらに対応するための取組が必要です。
- 3 地域コミュニティは、活力低下が懸念される中、まちのにぎわいや住民同士の支え合いなどの面で重要な役割を果たすことから、持続的な地域コミュニティづくりに取り組む必要があります。
- 4 市民がそれぞれの価値観やライフスタイルに応じ、仕事、地域活動、文化芸術やスポーツ活動など、様々な場面で活躍できる環境づくりが必要です。
- 5 急速に進む技術革新やグローバル化に対応できる人材を育てるとともに、一人一人の子どもや家庭の状況に応じながら、社会全体で子どもの成長を支えていく必要があります。
- 6 外国人訪問者が快適に滞在でき、外国人市民が安心して暮らせるよう、外国人向けサービスの向上や、外国人が地域の文化や習慣などを理解できるような環境づくりが必要です。
- 7 地域の防災力を高める取組や情報収集・連絡体制の整備など、災害に強いまちづくりを進めるとともに、地球温暖化対策などに取り組む必要があります。

### 課題を乗り越えるために



## コンセプト「持続可能なまちづくり」

### 1. 広域的な視点で取組を進めます。

「200万人広島都市圏構想」をベースに、広島広域都市圏を構成する近隣市町と共に、それぞれの強みを生かしながら、圏域全体の持続的な発展を目指します。

### 2. 「共助」の取組を広げます。

市民が必要とする行政サービスを的確に提供していくため、国や県との適切な役割分担の下で、「共助」の精神に基づく地域での支え合いを広げ、根付かせていきます。

#### 「200万人広島都市圏構想」とは

- 広島市の都心部からおおむね60kmの圏内にある、経済面や生活面で深く結び付いている圏域内の24市町(広島広域都市圏を構成する市町)が地域の資源を圏域全体で活用する様々な施策を展開することで、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指すという構想です。



広島広域都市圏の構成市町

